

大学紀要第 50 号に寄せて

本学の紀要が創刊から 50 年の節目を迎えることとなりました。この第 50 号を機に、冊子を必要最小限にして電子版へと移行するようです。電子版になれば、その内容や発表の仕方についても、これまで以上に自由度が増すことになるでしょう。また、近年は博士後期課程の学生が、ここに論文を発表し、研究実績の一助とする新しい使命も加わりました。

芸術実技系の大学である本学の大学紀要のあり方を一辺倒に問う事はできません。美術と音楽、そして理論系の研究者たちが集まる大学だからこそ、芸術を多種多様な角度から考察するユニークさも本学紀要の特色と言えるのではないのでしょうか。

評価主義や効率主義が蔓延する現代において、この広大な三ヶ峯の森の中にある愛知県立芸術大学だけは、おおらかに決して急^せくことなく、深く芸術の真理を追求し続ける大学であって欲しいと願います。

愛知県立芸術大学 学長 戸山 俊樹